

蘇我機関区廃止を許すな

「60・3ダイヤ改正」 当局が提案

動労千葉

84. 8. 31

No.1731

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七



国鉄当局は八月二十九日の団体交渉において「60・3ダイヤ改正における車両関係について」と称して蘇我機関区廃止をはじめとする、断じて許せぬ提案を行った。
動労千葉は、総力をあげて基地廃止攻撃と闘いぬく決意を明らかにするものである。

腔の怒りをこめて弾劾するものである。

全国で一〇一基地の廃止を提案

当局は、60・3を期して全国的な規模で大幅な車両及び基地の縮小、廃止を提案している。

まず車両数については、電車のみ五〇両の微増の他は、機関車、気動車、客車合わせて一六一〇両を減らすとしている。

そして基地については、車両、列車乗務員、動力車乗務員基地合わせて、全国で一〇一箇所の廃止という断じて許せぬ凶暴な攻撃である。

とりわけ動力車乗務員基地の廃止対象として、千葉局では蘇我機関区をあげており、さらに成田運転区の業務縮小を狙っていることについて、満

基地統廃合絶対反対で闘う

さらに、車両基地については、全国で三九箇所、千葉局関係では、越中島貨車区の廃止を提案している。

また、列車乗務員基地については、木更津車掌区及び千葉、成田の列車掛基地廃止を提案している。

われわれは、60・3ダイヤ改正阻止に向けて、第九回定期大会において、基地統廃合絶対反対を中心とする方針を確立し、蘇我機関区廃止攻撃粉碎のために、もてる全ての力を傾注して総決起することを宣言する。



「退取勧奨」の公募 九月一日開始強行粉碎

緒戦に勝利、「三本柱」完全粉碎まで更に追撃しよう

動労千葉は八月二十七日に第九回支部代表者会議を開催し、クビ切り「三本柱」粉碎、分割・民営化阻止、国鉄労働運動解体攻撃粉碎第一波闘争を減産闘争をもつて闘うことを確認し、体制を確立してきました。

こうした闘争体制を背景とした、八月二十九・三〇日の団体交渉において、当局は「職員の申し出による休職」に関して「九月一日からの募集については弾力的に対応する」との考え方を明らかにしました。この回答は「依願休職」の九月一日募集について、当局が事実上断念したことを意味するものであることを確認し、動労千葉は、指令第23号に基づく準備体制の解除について次のとおり指令を発しました。

ストライキ・減産闘争を構えることによってはじめて、おごりたかぶった当局の「九月一日一方的強行」を実力で粉碎した国労・動労千葉を先頭とした全国の国鉄労働者の怒りの決起に緒戦の勝利に自信と確信を深めるとともに、またしてもスト破壊・闘争圧殺のために当局の先兵となつてうごめいた労働者の敵に動労「本部」革マル反動分子を全職場から粉碎・一掃し、更なる勝利にむけて意気高く前進していこうではありませんか。

クビ切り「三本柱」粉碎、分割・民営化阻止

国鉄労働運動解体攻撃粉碎第一波闘争準備体制の解除について

- 一 各支部は指令第23号、第1項の準備体制を解除すること。
- 二 各支部は指令第23号第2項の高令者集会へ向けた取り組みを強化するとともに、九月七日に実施する申17号（「余剰人員の調整策」）についての解明要求に関する団体交渉に、高令者が可能な限り参加できる体制を確立すること。
